

まことに ゆ・た・かな心

横須賀市立ろう学校 中高等部通信 第10号

平成29年(2017年)9月5日

忘れない あの8月

8月6日——昭和20年(1945年)8月6日、午前8時15分、広島に原爆が投下され、その年の年末までに約14万人の方が亡くなりました。原爆投下後、^{ふんじん}粉塵・煙とともに放射性降下物を含んだ黒い雨が降り、その雨を浴びた方は被爆しました。

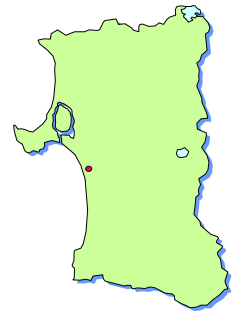
8月9日——昭和20年(1945年)8月9日、午前11時2分、長崎に原爆が投下され、その年の年末までに約7万4千人の方が亡くなりました。

8月15日——昭和20年(1945年)8月15日正午、日本が降伏したことが国民に公表されました。8月15日は終戦記念日になっています。

一生のうちに広島平和記念資料館や長崎原爆資料館、^{ちらん}知覧特攻平和会館(鹿児島県)、ひめゆり平和祈念資料館(^{おとす}沖縄県)を訪れ、感じるであろうものを感じてください。

8月12日も忘れられない出来事がありました。昭和60年(1985年)8月12日、群馬県の^{おすたか}御巣鷹の尾根にジャンボジェット機が墜落し、520人の方が亡くなりました(4名の生存者のうち12歳だった少女は、保健師だった母親の^{いし}遺志を継ぎ、看護師になりました)。群馬県で行われた関東豊学校卓球大会の2日目、試合が終わってホテルに戻った後、前橋城跡などを見学しに行ったときに寄った前橋東照宮に、その事故の^{いれいひ}慰霊碑がありました。

夏休みの思い出



【K先生】

今年の夏休みは^{おおいそが}大忙しでした。デフリンピック、関東選手権、研修……、いつも気が張っていたような気がします。

だから、すべての大会が終わった後、秋田に帰りました。私には、1つ上の兄がいて、兄も神奈川県に住んでいますが、あまり会っていません(仲が悪いわけではなく…(笑)、兄のことは大好きで尊敬しています)。大学の時は部活が厳しく、秋田には1年に2回しか帰れませんでした。今年はずっと兄の帰省期間が一緒だったので、久しぶりに家族全員が揃い、さっそくみんなで夕ご飯を食べました。それが一番の思い出です。親が作ってくれた料理もおいしかったです。安心感と、神奈川に戻ったら、また離れちゃうんだよなあ、という寂しさ。親からは「離れていても健康でいてくれれば十分だから」と言われますが、やはり私は寂しい。秋田の私の実家の周りには、田んぼや畑、山しかなくて、コンビニに行く時も車が必要で、高校生の時は「不便だな」としか考えていませんでしたが、今は「やっぱり秋田が一番だな」と思います。そして、高校生までは当たり前と思っていた日常が、今では貴重な時間。そんな風を感じた3日間でした。